GRACO

ベビー＆チャイルドシート

G-FIX

ジーフィックス

取扱説明書／保証書

このたびは、グレコ ジーフィックスをお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになった後は、本書を大切に保管してください。
取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
本誌のイラストは説明の便宜上、一部仕様が異なる場合があります。
ご不明な点がございましたらお客様サポートセンターまでご連絡ください。

⚠ 危険

・体重が9kg未満のお子さまは
前向きでは使用できません。

適応体重

グループ0+：2.5kgから13kg未満
グループ1　：9kgから18kgまで

本製品はお車の仕様に合わせて２つの取り付け方法から選んでお使い頂けます。
ISOフィックスシステムを使用しての取り付け：本製品は「準汎用」カテゴリに分類されています。
→お車が取り付け可能かどうかを取り付け一覧表などでご確認ください。
自動車のシートベルトを使用しての取り付け：「汎用」カテゴリに分類されます。
→お車が取り付け可能かどうか取り付け一覧表もしくは車の座席の形状・シートベルト長さ・シートベルトにチャイルドロック機構（ALR）が装備されているかをご確認ください。

〈お願い〉
◯本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
◯製品の品質向上のため予告なしに一部仕様変更する場合もありますのであしからずご了承ください。

製造元：グレコ・チルドレンズプロダクツ インク
連絡先：アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〒542-0082 大阪市中央区島之内1-13-13
お客様サポートセンター　TEL 0120-415-814
携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL 0570-004-155

MADE IN CHINA

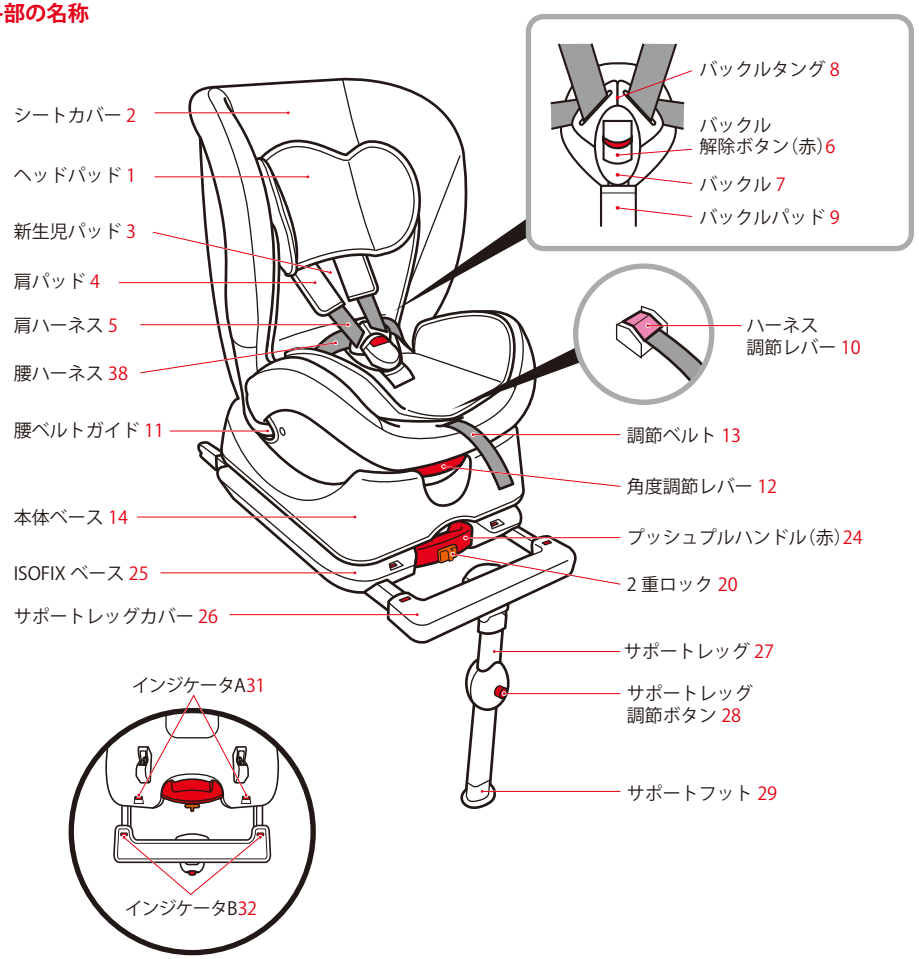
© 2016 Graco 16-12

もくじ

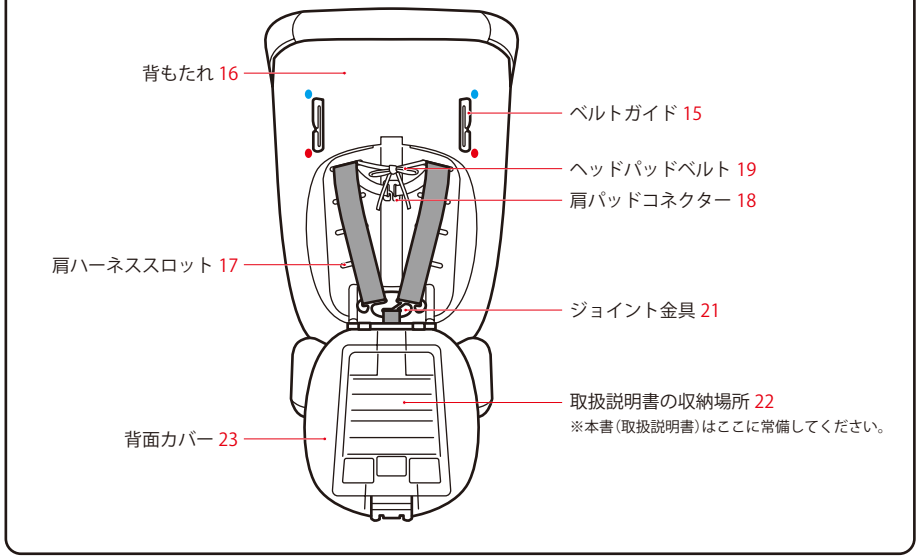
各部の名称 …… 3
1. 適用範囲 …… 5
2. 自動車への取り付け時の注意 …… 5
2.1 ISOFIXを使用しての取り付け …… 5
2.2 自動車のシートベルトを使用しての取り付け …… 5
2.3 取り付け可能な座席 …… 6
2.3.1 ISOFIXシステムを使用しての取り付け …… 6
2.3.2 自動車のシートベルトを使用しての取り付け …… 7
3. ご使用上の注意 …… 9
4. ハーネスシステムの調節 …… 11
4.1 肩ハーネスの調節 …… 11
4.2 ヘッドパッドの調節 …… 12
4.3 新生児パッドの使用について …… 12
4.4 新生児パッドの取り外しかた …… 12
5. ISOFIXを使用しての取り付けと使用 …… 13
5.1 自動車の座席を確認する …… 13
5.1.1 自動車の座席のISOFIXアンカーポイントの確認 …… 13
5.1.2 取り付ける座席の準備 …… 13
5.2 ISOFIXベースの取り付け …… 14
5.3 ISOFIXベースが正しく取り付けられたかを確認する …… 15
5.4 チャイルドシートの取り付け …… 15
5.4.1 体重13kg未満（グループ0+）のお子さまを後向きに取り付ける場合 …… 15
5.4.2 体重9kgから18kgまで(グループ1)のお子さまを前向きに取り付ける場合 …… 18
5.5 お子さまをチャイルドシートから降ろすには …… 21
5.6 チャイルドシートとISOFIXを取り外すには …… 22

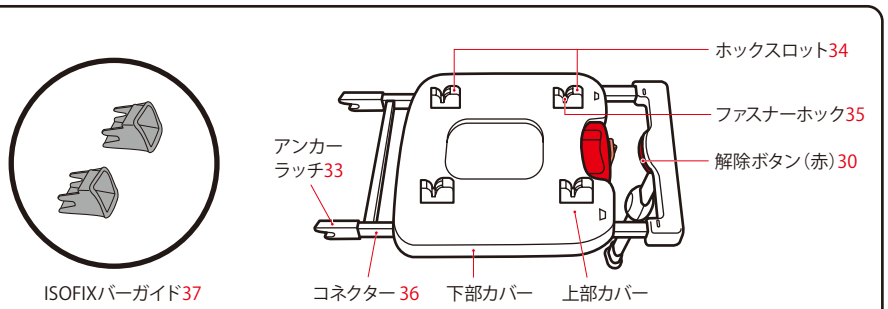
6. 自動車のシートベルトを使用してチャイルドシートを取り付け使用するには …… 22
6.1 自動車の座席を確認する …… 22
6.1.1 自動車の座席に３点式シートベルトが装備されているか確認する …… 22
6.1.2 自動車のシートベルトがALR/ELR(チャイルドロック機構)付きシートベルトかを確認する …… 22
6.1.3 取り付ける座席の準備 …… 22
6.2 チャイルドシートの取り付け …… 23
6.2.1 体重13kg未満（グループ0+）のお子さまを後向きに取り付ける場合 …… 23
6.2.2 体重9kgから18kgまで（グループ1）のお子さまを前向きに取り付ける場合 …… 26
6.3 お子さまをチャイルドシートから降ろすには …… 29
7. お手入れ方法について …… 30
7.1 シートカバーの取り外しかた …… 30
7.2 お手入れのしかた …… 32
保証とアフターサービスについて／保管方法／廃棄方法 …… 33
保証書 …… 34

各部の名称



NO.	各部	NO.	各部	NO.	各部	NO.	各部
1	ヘッドパッド	6	バックル解除ボタン(赤)	11	腰ベルトガイド	16	背もたれ
2	シートカバー	7	バックル	12	角度調節レバー	17	肩ハーネススロット
3	新生児パッド	8	バックルタング	13	調節ベルト	18	肩パッドコネクター
4	肩パッド	9	バックルパッド	14	本体ベース	19	ヘッドパッドベルト
5	肩ハーネス	10	ハーネス調節レバー	15	ベルトガイド	20	2 重ロック





NO.	各部	NO.	各部	NO.	各部	NO.	各部
21	ジョイント金具	26	サポートレッグカバー	31	インジケータ A	36	コネクター
22	取扱説明書の収納場所	27	サポートレッグ	32	インジケータ B	37	ISOFIX バーガイド
23	背面カバー	28	サポートレッグ調節ボタン	33	アンカーラッチ	38	腰ハーネス
24	プッシュプルハンドル(赤)	29	サポートフット	34	ホックスロット		
25	ISOFIX ベース	30	解除ボタン(赤)	35	ファスナーホック		

1. 適用範囲　体重グループと取り付けの規定

取り付け方法	グループ	体重	参考身長
ISO FIX付(サポートレッグ)、後向き	0+	2.5-13kg	50cm位～80cm位
ISO FIX付(サポートレッグ)、前向き	1	9-18kg	70cm位～100cm位
3点式安全ベルト、後向き	0+	2.5-13kg	50cm位～80cm位
3点式安全ベルト、前向き	1	9-18kg	70cm位～100cm位

チャイルドシートは、体重2.5kgから18kg まで、またECE R44/ 04 基準により認定されたグループ0+とグループ1 に適しており、お子さまを守るために異なったグループの必要に応じて２つの取り付け方法が出来るようになっております。

グループ0+に属する体重13kg未満のお子さまには後向きでご使用いただけます。

グループ1に属する体重9kgから18kgまでのお子さまには前向きでご使用いただけます。

ISOFIXシステムで取り付けの場合

1. 本装置はISOFIX 幼児拘束装置です。ISOFIX アンカレッジシステムを装備した車両で一般的に使用するものとして、規則No. 44 の04 改訂シリーズに基づいて認可を受けています。
2. チャイルドシートと取り付け具のカテゴリーに応じて認可されたISOFIX 位置（詳しくは車両ハンドブックを参照）を有する車両に適合します。
3. 使用においてはISOFIX サイズ階級の「E」となります。後向きでは体重グループ0+ となります。
4. 前向きでは体重グループ１、ISOFIX サイズ階級の「A」となります。

シートベルトで取り付けの場合

1. 本装置は「汎用」幼児拘束装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、規則No.44 の04改訂シリーズに基づいて認可されており、一部を除いて大抵の車両のシートに適合します。
2. 車両メーカーの車両ハンドブックに当該車両がこの年齢層向けの「汎用」幼児拘束装置を搭載できると明記されていれば、装置が正しく取り付けられると考えられます。
3. 本幼児拘束装置は、この注意書きが貼付されていない従来の設計よりも厳しい条件に基づいて「汎用」装置に分類されています。
   疑問があるときは、販売店または弊社お客様サポートセンターにご相談ください。

2. 自動車への取り付け時の注意

2.1 ISOFIX を使用しての取り付け

ECE R44/04 基準により認定されたISOFIXシステムを使用してチャイルドシートを取り付ける事が出来ます。ISOFIXシステムを使用してチャイルドシートを取り付ける場合は、車のシートにISOFIXアンカーが付いている事をご確認ください。なお車の取扱説明書で本装置が取り付け可能なサイズ階級に当たるかを確認し、ご使用ください。また本装置は「準汎用」カテゴリに分類されています。お車が取り付け可能かどうかを取り付け一覧表などでご確認ください。

後向きに取り付け時、この装置が該当する体重グループとISOFIXサイズ階級はEです。 E

前向きに取り付け時、この装置が該当する体重グループとISOFIXサイズ階級はAです。 A

2.2 自動車のシートベルトを使用しての取り付け

本装置での自動車のシートベルトを使用しての取り付けはECE R44/04の「汎用」カテゴリーに分類されたチャイルドシートです。
本装置はECE規則のNo.16または同等の基準に基づいて認可された自動車３点式/リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。

2.3 取り付け可能な座席

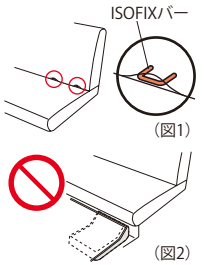
2.3.1 ISOFIX システムを使用しての取り付け
：「２. 自動車への取り付け時の注意」を確認のうえ、以下の座席条件もご確認ください。

取り付け方法	ご使用条件	使用
後向き：進行方向に対して逆向きに置く	前座席(エアバッグの作動をオフできる場合)	使用できません
	前座席(エアバッグが装備されている)	使用できません
	車の進行方向に対し横向きの座席	使用できません
	車の進行方向に対し後向きの座席	使用できません
	後部座席の両側	取り付け条件が満たされれば取り付けできます
	後部座席の真ん中	取り付け条件が満たされれば取り付けできます
前向き：進行方向に向かって置く	前座席(エアバッグはオフにする)	使用できません
	前座席(エアバッグはオンにする)	使用できません
	車の進行方向に対し横向きの座席	使用できません
	車の進行方向に対し後向きの座席	使用できません
	後部座席の両側	取り付け条件が満たされれば取り付けできます
	後部座席の真ん中	取り付け条件が満たされれば取り付けできます

チャイルドシートのご使用および適合性については車の取扱説明書をよくお読みください。

：このマークのある座席には取り付けないでください。

1.チャイルドシートを取り付けする座席にISOFIXバーが装備されているかご確認ください。(図1)
2.お車の取扱説明書で以下をご確認ください。
・後向き(体重2.5kgから13kg未満)使用時:サイズ等級「E」が使用不可でないこと。
・前向き(体重9kgから18kgまで)使用時:サイズ等級「A」が使用不可でないこと。
3.チャイルドシートを取り付けする座席のフロアに、ヒューズボックス、収納型シート、コンソールボックス、スペアタイヤの収納スペースがないことをご確認ください。(図2)
4.取り付け一覧表で取り付け可能かをご確認ください。グレコホームページ「http://www.gracobaby.jp」で最新版がご覧になれます。



(図1)

(図2)

取り付け可能車種一覧表（一部抜粋）　〈記号凡例〉◎：取り付けできます。

メーカー名	車種名	年式	型式	調査座席	取り付け
トヨタ	プリウス	'09／5～	ZVW30	後部サイド	◎
ニッサン	ラフェスタ　ハイウェイスター	'11／6～	CWE##	2列目サイド	◎
ホンダ	NBOX	'11／12～	JF12	後部サイド	◎
マツダ	プレマシー	'07／7～	CWE##	2列目サイド	◎
ミツビシ	RVR	'10／2～	GA3W	後部サイド	◎
スバル	レガシー	'09／5～	BR9、BRF(アウトバック含む)	後部サイド	◎
スズキ	スイフト	'10／9～	ZC72S,ZD72S	後部サイド	◎
ダイハツ	ムーブ	'10／12～	LA100S、LA110S	後部サイド	◎

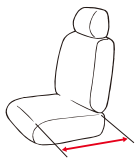
2.3.2 自動車のシートベルトを使用しての取り付け
：「2. 自動車への取り付け時の注意」を確認のうえ、以下の座席条件もご確認ください。

取り付け方法	ご使用条件	使用
後向き： 進行方向に対して 逆向きに置く	2点式シートベルト	使用できません
	後部座席の真ん中(3点式シートベルト)	取り付け条件が満たされれば取り付けできます
	前座席(エアバッグの作動をオフできる場合)	使用できません
	前座席(エアバッグが装備されている)	使用できません
	補助席や幼児専用座席	使用できません
	車の進行方向に対し横向きの座席	使用できません
	車の進行方向に対し後向きの座席	使用できません
	後部座席の両側	取り付け条件が満たされれば取り付けできます
前向き： 進行方向に 向かって置く	2点式シートベルト	使用できません
	後部座席の真ん中(3点式シートベルト)	取り付け条件が満たされれば取り付けできます
	前の座席(エアバッグはオフに)	使用できません
	前の座席(エアバッグはオンに)	使用できません
	補助席や幼児専用座席	使用できません
	車の進行方向に対し横向きの座席	使用できません
	車の進行方向に対し後向きの座席	使用できません
	後部座席の両側	取り付け条件が満たされれば取り付けできます

チャイルドシートのご使用および適合性については車の取扱説明書をよくお読みください。

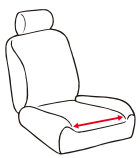
自動車のシートベルトで取り付け可能なシート
1. 下記の取り付け一覧表でご確認ください。グレコホームページ「http://www.gracobaby.jp」で最新版がご覧になれます。
2. グレコホームページで確認できない場合、以下の条件をご確認ください。
①自動車のシートベルトを使用してチャイルドシートを取り付ける場合は、自動車の３点式のシートベルトがUN/ECE 規則の第16条または他の同等基準に適合している事を確認してください。
②以下の条件をご確認ください。グレコホームページで確認できない車種のうち以下の条件をすべて満たさない場合はお取り付けすることができません。

1



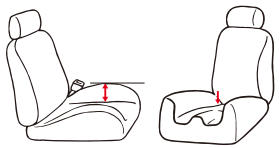
奥行きが400mm以上であること。

2



座面の幅が350mm以上であること。

3

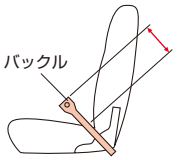


座面の落ち込みが100mm以下であること。

4

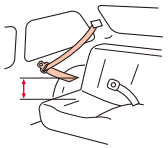
シートベルトの取り付け幅が350mm以上であること。

5



バックル側のベルトが固い樹脂製などでかつ極端にバックルが長い座席。（一部のRV車）

6

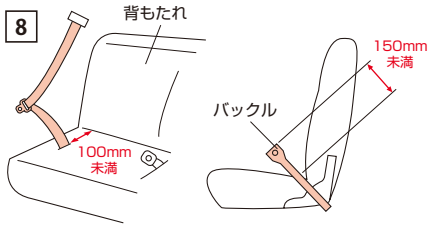


シートベルトの出る位置が座面から100mm以下であること。

7 シートベルトが「チャイルドロック機構付き（ALR／ELR）」であること。

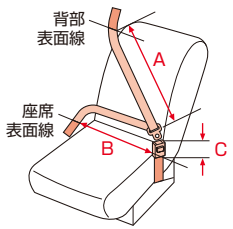
シートベルトの種類		特　徴	取り付け上の注意点
3点式シートベルト	ELR付シートベルト （緊急ロック式巻取装置付）	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。	本製品は、ご使用できません。
	ALR／ELR付シートベルト （チャイルドロック機構付）	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構付です。全て巻き取るとロックが解除されます。	使用できます。取り外す際は、シートベルトを全てもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。
	その他	上記に当てはまらないシートベルト。	本製品は、ご使用できません。

8



バックル及び腰シートベルトが背もたれから100mm未満から出ていて、かつバックルの長さが150mm未満であること。

9



シートベルトの長さ（A+B+C）が245cm以上であること。

3. ご使用上の注意

⚠危険 誤った扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。

◎フロントエアバッグが装備された助手席には取り付けできません。（サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には使用できます。）車両メーカーの取扱説明書に記載がある場合は指示に従ってください。
◎チャイルドシートを本書及び、本体表示ラベルの説明以外の方法で取り付けない。
◎可動式シートまたは車のドアにチャイルドシートの剛性部品やプラスチック部品を挟まない。
◎チャイルドシートのバックルを解除した状態で使用しない。
◎お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態で使用しない。

⚠警告 誤った扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

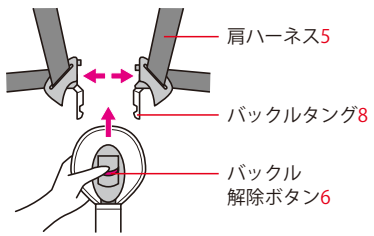
◎事故や落下、放り投げなどにより強い衝撃が加わった後は使用しない。
◎本製品を分解・改造・及び指定部品以外の交換はしない。
◎衝突の際に傷害の原因になるおそれのある荷物などは車内に置かない。
怪我の原因になるような荷物は完全に固定してください。
◎本来の使用目的以外の方法での使用はおやめください。
使用目的以外の方法でお使いになった場合メーカーとしての責任はとれません。
◎チャイルドシートの操作時、お子さまを周りに近づけない。可動部でお子さまの指や手足が挟まれたり、身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。
◎肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。
◎腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
◎チャイルドシートの肩ハーネスはお子さまの身体にフィットするように調整してください。
◎お子さまを乗せていないときも、チャイルドシートは常時座席に固定しておいてください。
◎チャイルドシートを取り付けしている時にお子さまを近づけない。
◎お子さまにチャイルドシートの取り付けや操作をさせない。
◎チャイルドシート使用時は、お子さまを1人で車内に残さない。
◎緊急時の脱出の妨げとなる座席にはチャイルドシートを取り付けない。

⚠注意 誤った扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。

◎チャイルドシートのカバーを外して使用することはおやめください。カバーは拘束装置の一部なので、弊社指定以外の部品と交換しないでください。
◎チャイルドシートを直射日光にさらさない。
金属部分などが熱くなり、やけどのおそれがあります。
◎車の座席が革仕様の場合には傷が発生したり革が延びる場合がありますので取り付けをお勧めできません。
◎バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は使用しない。
◎屋外に放置し、日光や雨にさらさない。
◎砂やほこりの多い場所で使用すると可動部分に詰まり故障の原因になります。
◎本体の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。
変色、変形、劣化のおそれがあります。

中古品のご使用について
使用状態の不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な場合は使用できません。

〈緊急時のお子さまの降ろしかた〉



緊急の時はあわてずに…
①バックル解除ボタン6を押し、バックルタング8を外す。
②肩ハーネス5をお子さまから外す。
③お子さまをチャイルドシートから降ろす。
④安全な場所へ避難する。

バックルからタングが抜けない時は…
●チャイルドシートの肩ハーネスをシートベルトカッター（市販品）などで切り、お子さまを降ろす。

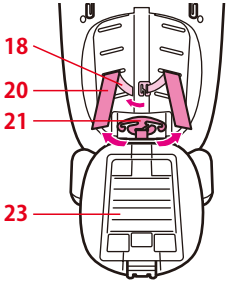
4. ハーネスシステムの調節

4.1 肩ハーネスの調節

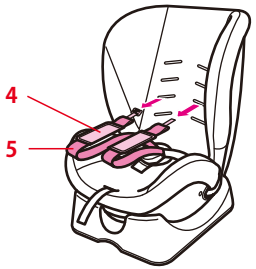
衝突などの際に充分な性能を発揮するために肩ハーネスの高さは正しい位置でご使用ください。

1.背面カバー23を開ける。

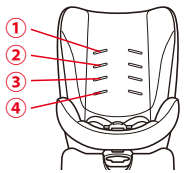
2.ジョイント金具21から肩ハーネス20を外します。肩パッドコネクター18を外します。



3.肩ハーネス5と肩パッド4を外します。



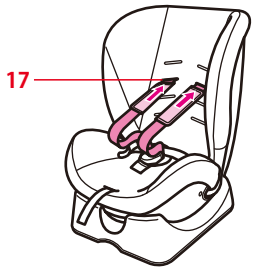
4.肩ハーネス5と肩パッド4を適切な肩ハーネススロット17に通し直します。
肩ハーネスと肩パッドは肩と同じ高さ、または肩より高い位置であること。



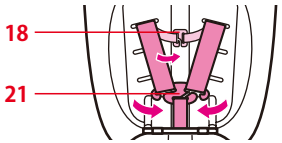
	後向き	前向き
①段目	使用不可	使用可能
②段目	使用可能	使用可能
③段目	使用可能	使用不可
④段目	使用可能	使用不可

警告

- グループ0+として使用する場合は、肩ハーネスが肩ハーネススロット17の2〜4番目を通っていること。
※グループ0+:2.5kgから13kg未満
- お子さまの身長によって、適切な肩ハーネススロット17をお選びください。
- 肩ハーネスと肩パッドは肩と同じ高さ、または肩より高い位置であること。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



5.背もたれのジョイント金具21に肩ハーネスを取り付け、その後に肩パッドを肩パッドコネクター18に取り付けるようにしてください。

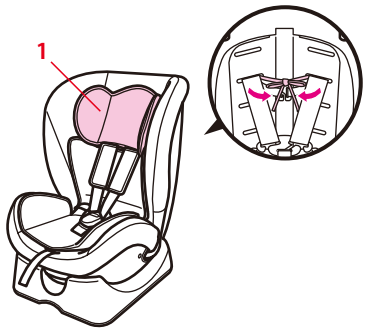


6.背面カバーを閉めてください。

4.2 ヘッドパッドの調節

1.ヘッドパッド1は肩ハーネスを通した高さに取り付けてください。

2.背面カバーを閉めてください。



ヘッドパッド	後向き	前向き
	必要	使用可能

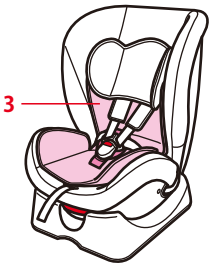
警告

- 肩パッドを肩ハーネスに通さない状態で使用しないこと。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

4.3 新生児パッドの使用について

体重が5.5kg未満のお子さまには、新生児パッド3を必ずご使用ください。

新生児パッド	後向き		前向き
	体重5.5kgまで	体重5.5kg〜13kg未満	体重9kg〜18kgまで
必要	使用可能		使用不可



・肩ハーネス通し穴は肩ハーネスの段数を合わせてください。

警告

- 体重が5.5kg未満のお子さまは新生児パッドを使用すること。また、新生児パッドの中のクッション材を取り外して使用しないこと。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

4.4 新生児パッドの取り外しかた

1.背面カバーを開ける。

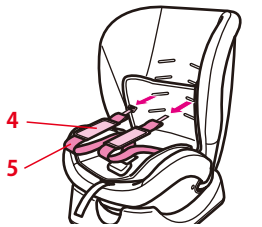
2.ジョイント金具から肩ハーネスを外します。
肩パッドコネクターを外します。

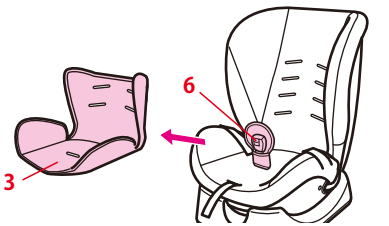
3.肩ハーネス5と肩パッド4を外します。

4.バックル解除ボタン（赤）6を押して、バックルタングを解除します。

5.新生児パッド3を取り外します。

6.背面カバーを閉めてください。





5. ISOFIXを使用しての取り付けと使用

5.1自動車の座席を確認する

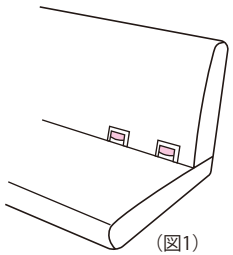
5.1.1自動車の座席のISOFIXアンカーポイントの確認

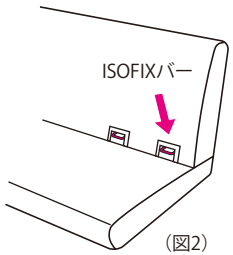
1.はじめに自動車の座席にISOFIXバーが装備されているか確認し、自動車の取扱説明書をご覧になり、推奨されているISOFIXチャイルドシートが適合するお車かを確認してください。
（P 6参照）

後向きに取り付け時、この装置が該当する体重グループとISOFIXサイズ階級はEです。 E

前向きに取り付け時、この装置が該当する体重グループとISOFIXサイズ階級はAです。 A

2.図1のように装備されている場合は自動車の座席のISOFIXバーのカバーを外し、図2のようにISOFIXバーが見えるようにします。

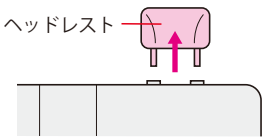

（図1）



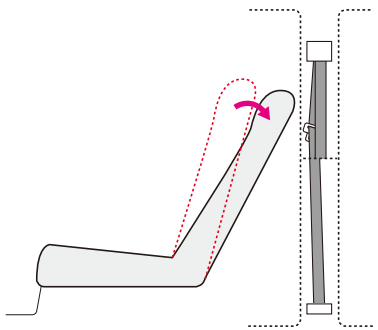
（図2）

5.1.2 取り付ける座席の準備

1.ヘッドレストが取り外せる場合は取り外す。



2.背もたれがリクライニングする場合は少し後方へ倒す。

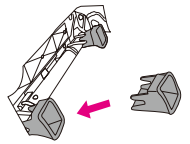


警告

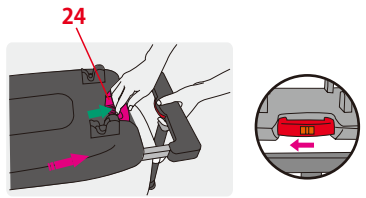
- 緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。
- ヘッドレストを外さずに取り付けるとヘッドレストと背もたれが干渉するおそれがあります。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- 車のヘッドレストが取り外せない場合は、座席の背もたれを少し倒し、ヘッドレストとチャイルドシートのベルトロックレバーが干渉しないようにする。
- 取り外したヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。

5.2 ISOFIXベースの取り付け

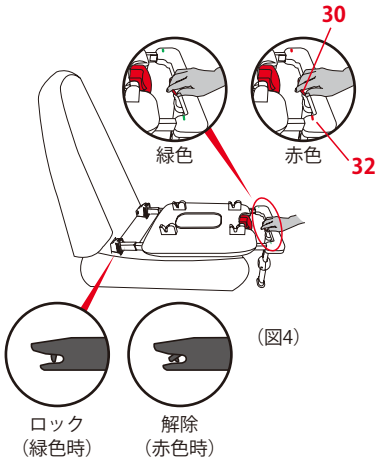
1.ISOFIXベースをより取り付けやすくするために２つのISOFIXバーガイドを自動車の座席のISOFIXバーに取り付けることができます。図3のようにISOFIXバーガイドのプラスチックの開口部分が上向きになるように固定します。お車によっては取り付けられない場合がございます。


ISOFIXバーガイド （図3）

2.2重ロックを左へスライドさせて、プッシュプルハンドル（赤）24を手前へ引き、ISOFIXベースが一番外側にくるようにします。



3.解除ボタン30を押し込み、アンカーラッチを解除してください。ISOFIXのインジケータB32が赤色になってロックが解除されていることを確認します。また図4のようにアンカーラッチのロックが解除されているか目で確認してください。

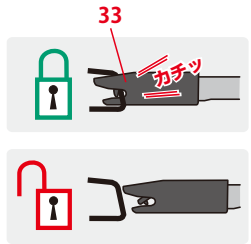


（図4）

アドバイス

インジケータB32が
〈緑色になっている場合〉
アンカーラッチがロックされています。
〈赤色になっている場合〉
ロックされていません。

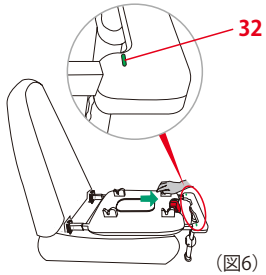
4.アンカーラッチ33をお車のISOFIXバーに差し込んでください。



（図5）

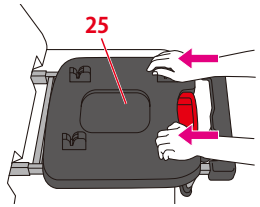
5.3 ISOFIXベースが正しく取り付けられたかを確認する

1.インジケータB32が緑色を表示し、「カチッ」という音を確認したら図6のようにベースを手前に引き、座席に固定されて動かないことを確認してください。



（図6）

2.自動車の座席の背もたれに着くまでISOFIXベース25を押し込みます。「カチッ」という音を確認したらベースを手前に引き、固定されて動かないことを確認してください。



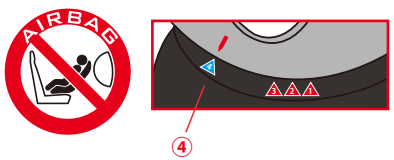
5.4 チャイルドシートの取り付け

5.4.1 体重13kg未満（グループ0+）のお子さまを後向きに取り付ける場合

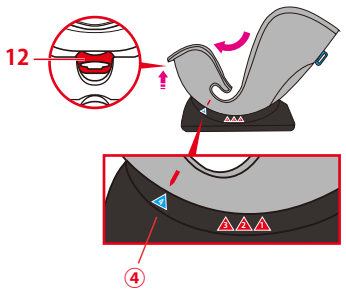
危険

- グループ0+（体重2.5kgから13kg未満）で使用する場合のチャイルドシートは必ず一番リクライニングが倒れた状態④で後向きに取り付けること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- エアバッグの付いた助手席にはお取り付けできません。
  エアバッグが膨らんだ際に当たり危険です。

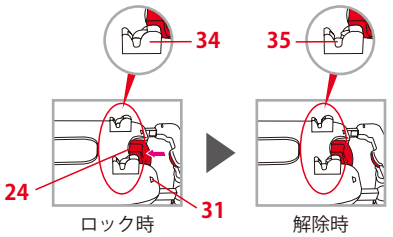
フロントエアバッグ禁止！



1.角度調節レバー12を引き、リクライニングの角度を調節し倒します。
本体ベースの横に付いている赤い矢印がベース上の「4」を指し、ロックされたことを確認してください。

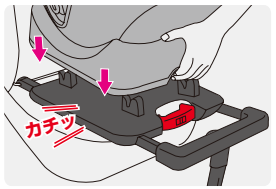


2.2重ロックを右にスライドさせてから、プッシュプルハンドル（赤）24を押し、ファスナーホック35を解除してください。インジケータA31が赤色になってロックが解除されていることを確認します。またホックスロット34が解除されているか目で確認してください。

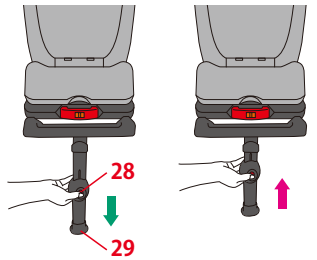


アドバイス
インジケータA31が
〈緑色になっている場合〉
スロットホックがロックされています。
〈赤色になっている場合〉
ロックされていません。

3. ファスナーホック 35 を解除した後に、チャイルドシートを後向きにし、チャイルドシートのバーがホックの穴を指したら、「カチッ」という音が聞こえるまで、チャイルドシートを降ろします。



4.サポートレッグ調節ボタン28を押し、サポートフット29が車の床に着くまでサポートレッグの長さを調節します。



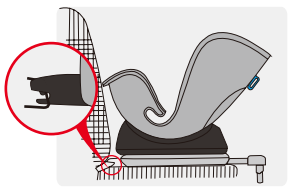
警告

- サポートフットが車のフロアから離れていないこと。またISOFIXベースと車の座面の隙間は25mm以下であること。
  衝突などの際に充分性能を発揮できません

5.チャイルドシートが正しく取り付けられている事を確認します。

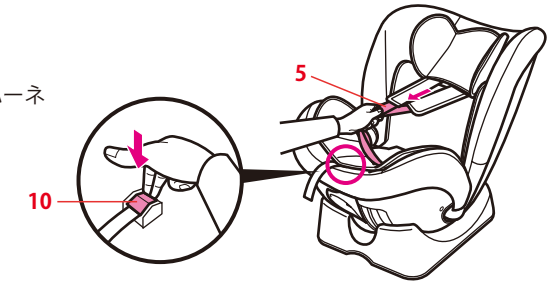
チャイルドシートの安全性を確実にするために、以下の事項を確認してください。
正しい取り付けができていないと衝突などの際に充分な性能を発揮できません。

①チャイルドシートはISOFIXバーのついた座席に取り付けること。
②チャイルドシートのリクライニングは4番の位置まで倒れていること。
③チャイルドシートは後向きで使用すること。
④ISOFIXシステムは正しく取り付けられ、ISOFIXバーに完全にロックされていること。
⑤チャイルドシートとISOFIXベースが確実にロックされたことを本体を上下に動かし確認すること。

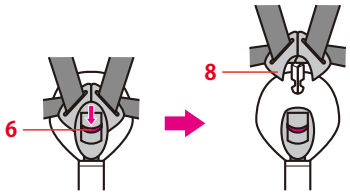


6.お子さまを固定する。

①ハーネス調節レバー10を押し、肩ハーネス5を引き、ゆるめます。

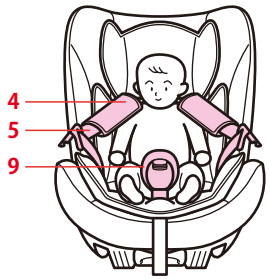


②バックル解除ボタン（赤）6 を押して、バックルタング 8 を解除します。



③お子さまをチャイルドシートに乗せます。

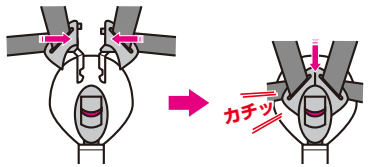
④お子さまの肩の上に肩ハーネス 5 と肩パッド 4 を、お子さまの脚の間には股ベルトとバックルパッド 9 を置きます。



警告

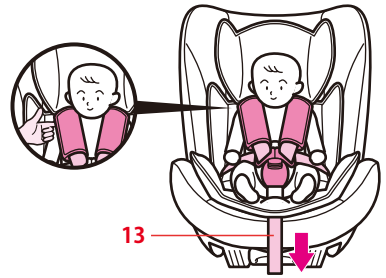
・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

⑤左右のタングを合わせて「カチッ」という音が聞こえるまで２つのバックルタングをバックルに差し込みます。



7. ハーネスシステムを締める。

調節ベルト13を引きながら、肩ハーネスの長さを調節します。



目安：お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が１本入る程度。

警告

・余った調節ベルトは丸めるなどしてシートの中に収納しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

8. お子さまが正しく乗せられたかを確認します。

お子さまの安全を確実にするために、以下をご確認ください。

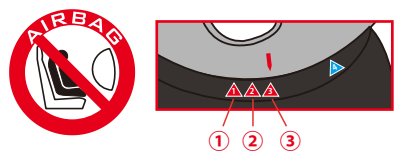
①チャイルドシートのベルトを締めるときは、お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指1本入る程度が適切です。
②肩ハーネスがねじれていないかを確認してください。
③バックルは完全にロックされていること。
④肩ハーネスと肩パッドは肩と同じ高さ、または肩より高い位置であること。

5.4.2 体重9kgから18kgまで（グループ1）のお子さまを前向きに取り付ける場合

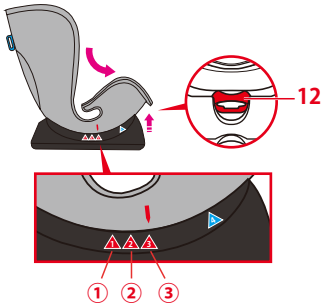
危険

・グループ1（体重9kgから18kgまで）で使用する場合のチャイルドシートはリクライニングポジション①～③で必ず前向きに取り付けること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・エアバッグの付いた助手席にはお取り付けできません。
エアバッグが膨らんだ際に当たり危険です。

フロントエアバッグ禁止！

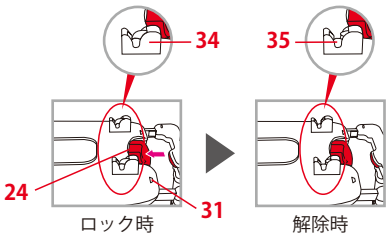


1.角度調節ハンドル12を引きながら、リクライニングの角度を調節してください。本体ベースの横に付いている赤い矢印がベース上の「1」から「3」を指し、ロックされたことを確認してください。



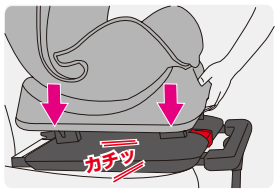
アドバイス 前向きでご使用の場合、リクライニングは3段階選べます。お子さまが座り心地がいいように、リクライニングの位置を調節してください。

2.2重ロックを右にスライドさせてから、プッシュプルハンドル（赤）24を押し、ファスナーホック35を解除してください。インジケータA31が赤色になってロックが解除されていることを確認します。またホックスロット34が解除されているか目で確認してください。

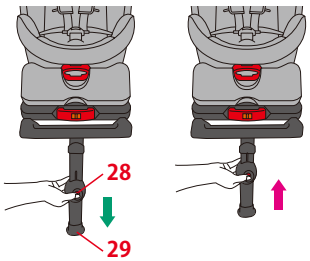


アドバイス インジケータA31が
〈緑色になっている場合〉スロットホックがロックされています。
〈赤色になっている場合〉ロックされていません。

3. ファスナーホック 35 を解除した後に、チャイルドシートを前向きにし、チャイルドシートのバーがホックの穴を指したら、「カチッ」という音が聞こえるまで、チャイルドシートを降ろします。



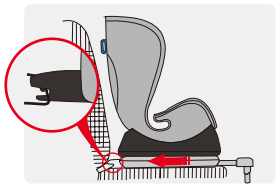
4.サポートレッグ調節ボタン28を押し、サポートフット29が車の床に着くまでサポートレッグの長さを調節します。



警告
- サポートフットが車のフロアから離れていないこと。またISOFIXベースと車の座面の隙間は25mm以下であること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

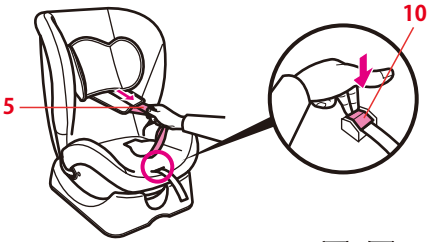
5.チャイルドシートが正しく取り付けられている事を確認します。

チャイルドシートの安全性を確実にするために、以下の事項を確認してください。
正しい取り付けができていないと衝突などの際に充分な性能を発揮できません。
①チャイルドシートはISOFIXバーが装備された自動車の座席に取り付けられなければなりません。
②チャイルドシートのリクライニングは①～③の位置であること。
③チャイルドシートは前向きに取り付けること。
④ISOFIXシステムは正しく取り付けられ、ISOFIXバーに完全にロックされていること。
⑤チャイルドシートとISOFIXベースが確実にロックされたことを本体を上下に動かし確認すること。

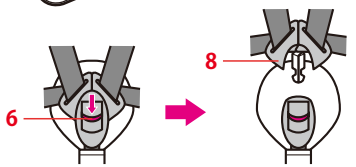


6.お子さまを固定する。

①ハーネス調節レバー10を押し、肩ハーネス5を引き、ゆるめます。

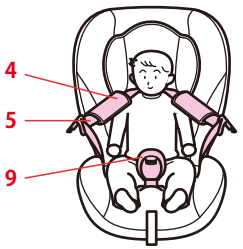


②バックル解除ボタン（赤）6を押して、バックルタング8を解除します。



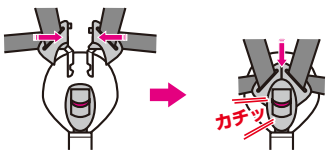
③お子さまをチャイルドシートに乗せます。

④お子さまの肩の上に肩ハーネス 5 と肩パッド 4 を、お子さまの脚の間には股ベルトとバックルパッド 9 を置きます。



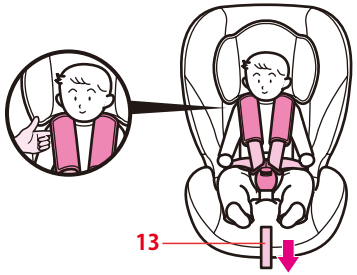
警告
- 肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

⑤左右のタングを合わせて「カチッ」という音が聞こえるまで２つのバックルタングをバックルに差し込みます。



7. ハーネスシステムを締める。

調節ベルト13を引きながら、肩ハーネスの長さを調節します。



目安：お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が１本入る程度。

警告

・余った調節ベルトは丸めるなどしてシートの中に収納しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

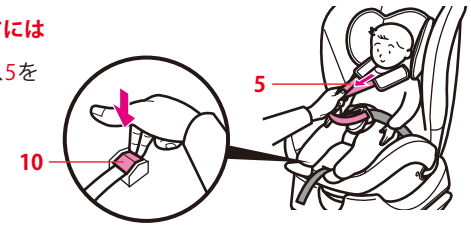
8. お子さまが正しく乗せられたかを確認します。

お子さまの安全を確実にするために、以下をご確認ください。

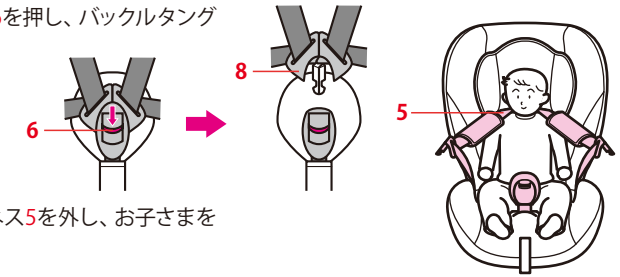
①チャイルドシートのベルトを締めるときは、お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指1本入る程度が適切です。
②肩ハーネスがねじれていないかを確認してください。
③バックルは完全にロックされていること。
④肩ハーネスと肩パッドは肩と同じ高さ、または肩より高い位置であること。

5.5 お子さまをチャイルドシートから降ろすには

1.ハーネス調節レバー10を押し、肩ハーネス5を引き、ゆるめます。



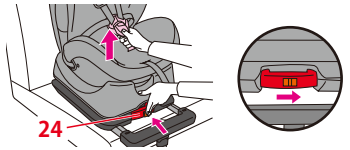
2.バックル解除ボタン（赤）6を押し、バックルタング8を解除します。



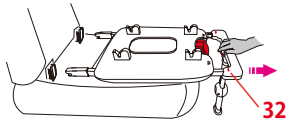
3.お子さまの肩から肩ハーネス5を外し、お子さまを降ろします。

5.6 チャイルドシートとISOFIXを取り外すには

1.2重ロックを右へスライドさせ、プッシュプルハンドル（赤）24を押し込み、本体を持ち上げて、ISOFIXベースから取り外します。



2.解除ボタンを押し込むとインジケータB32が赤い色になり、ISOFIXベースを手前に引くとISOFIXベースを取り外せます。



6. 自動車のシートベルトを使用してチャイルドシートを取り付け使用するには

6.1 自動車の座席を確認する。

6.1.1 自動車の座席に３点式シートベルトが装備されているか確認する

UN/ECE規則第16条またはその他同等の基準で認定されている3点式シートベルトが装備されている、認定済の自動車のみが適合とされます。

6.1.2 自動車のシートベルトがALR/ELR（チャイルドロック機構）付きシートベルトかを確認する

〈チャイルドロック機構の有無の確認方法〉

ⓐシートベルトをゆっくり全て引き出します。
ⓑ全て引き出した後、10cmほど巻き取り方向に戻します。
ⓒ再びゆっくり引き出します。　引き出せる　→チャイルドロック機構無し
引き出せない→チャイルドロック機構付きシートベルト

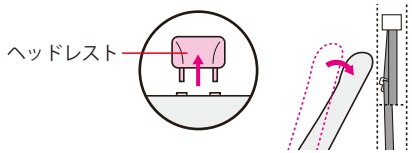
危険

・シートベルトにチャイルドロック機構のない座席では、ご使用になれません。

6.1.3 取り付ける座席の準備

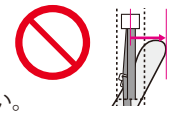
1.ヘッドレストが取り外せる場合は取り外す。

2.背もたれがリクライニングする場合は少し後方へ倒す。



警告

・車の座席がスライドできる場合は、座席の背もたれの上部がシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。
・ヘッドレストを外さずに取り付けるとヘッドレストと背もたれが干渉するおそれがあります。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・車のヘッドレストが取り外せない場合は、座席の背もたれを少し倒し、ヘッドレストとチャイルドシートのベルトロックレバーが干渉しないようにする。
・取り外したヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。

6.2 チャイルドシートの取り付け

注意

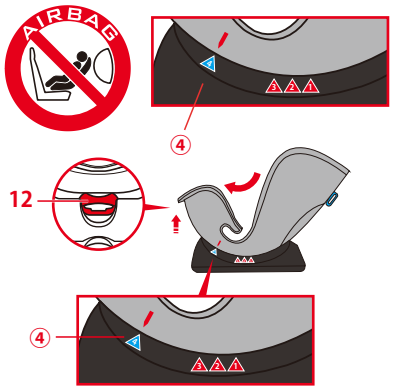
- 自動車のシートベルトを使用しての取り付けの場合、ISOFIXベースを取り外して取り付けをおこなってください。

6.2.1 体重13kg未満（グループ0+）のお子さまを後向きに取り付ける場合

危険

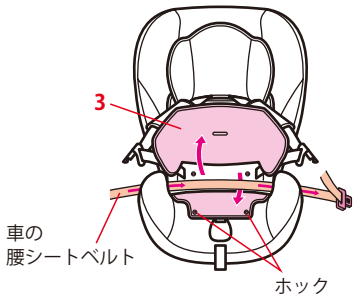
- グループ0＋（体重2.5kgから13kg未満）で使用する場合のチャイルドシートは必ず一番リクライニングが倒れた状態④で後向きに取り付けること。
- 3点式シートベルトの付いた自動車の座席に取り付けること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- エアバッグの付いた助手席にはお取り付けできません。エアバッグが膨らんだ際に当たり危険です。

フロントエアバッグ禁止！



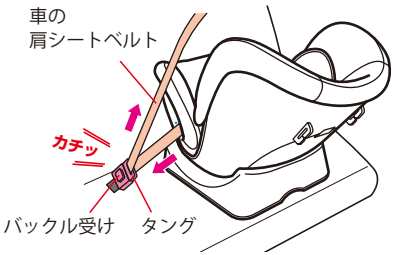
1.角度調節レバー12を引き、チャイルドシートを前方向リクライニングの最大の角度位置（④）まで調節します。

2.ハーネスをゆるめ、バックルを解除し、新生児パッド3の下半分をバックルから取り外します。



3.シートカバーの座部と背もたれの間に2か所にあるホックを外してシートカバーをめくります。

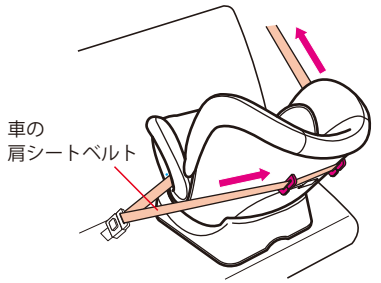
4.左右2か所にある腰ベルトガイドの青いラベル付近を通るように車の腰シートベルトを通します。車のシートベルトタングをバックル受けに差し込んでください。車のシートベルトにたるみができないように肩シートベルトを強く引き上げます。



警告

- 自動車に付いているシートベルトにたるみやねじれが無いこと。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

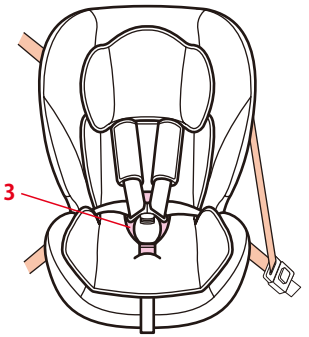
5.本体背面に2か所あるベルトガイドに車の肩シートベルトを通します。



6.めくったシートカバーを戻して、シート座面2か所にあるホックを取り付けます。

危険

- 車のシートベルトをシートカバーでおおい、直接お子さまにシートベルトが触れないようにすること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



7.新生児パッド3の下半分をバックルに通します。

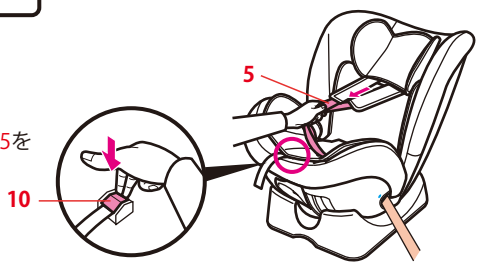
8.車のシートベルトを一度全て引出し、チャイルドシートロック機構（ALR）を作動させてください。余ったシートベルトは戻してください。
チャイルドロック機構の有無の確認方法（P22参照）

危険

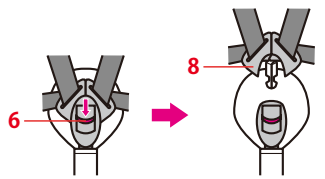
- 車のシートベルトで取り付けを行う場合、チャイルドロック機構（ALR）を必ずご使用ください。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

9. お子さまを固定する。

①ハーネス調節レバー10を押し、肩ハーネス5をゆるめます。

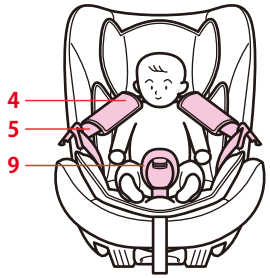


②バックル解除ボタン（赤）6 を押して、バックルタング 8 を解除します。



③お子さまをチャイルドシートに乗せます。

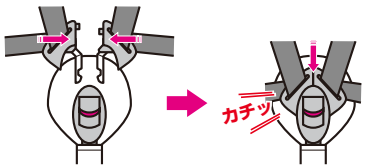
④お子さまの肩の上に肩ハーネス 5 と肩パッド 4 を、お子さまの脚の間には股ベルトとバックルパッド 9 を置きます。



警告

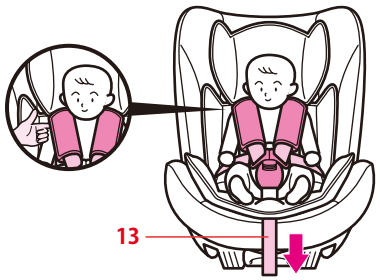
・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

⑤左右のタングを合わせて「カチッ」という音が聞こえるまで２つのバックルタングをバックルに差し込みます。



10. ハーネスシステムを締める。

調節ベルト13を引きながら、適切な位置に来るまでハーネスの肩ハーネスを調節します。



目安：お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が１本入る程度。

警告

・余った調節ベルトは丸めるなどしてシートの中に収納しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

11. お子さまが正しく乗せられたかを確認します。

お子さまの安全を確実にするために、以下をご確認ください。

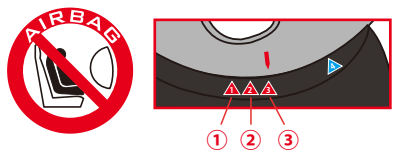
①チャイルドシートのベルトを締めるときは、お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指1本入る程度が適切です。
②肩ハーネスがねじれていないかを確認してください。
③バックルは完全にロックされていること。
④肩ハーネスと肩パッドは肩と同じ高さ、または肩より高い位置であること。
⑤チャイルドシートが背面2か所のベルトガイドと腰ベルトガイドを通っていること。
⑥車のシートベルトのチャイルドロック機構（ALR)が作動し、シートベルトがそれ以上引き出せない状態にあること。
⑦車のシートベルトにたるみやゆるみが無いこと。

6.2.2 体重9kgから18kgまで（グループ1）のお子さまを前向きに取り付ける場合

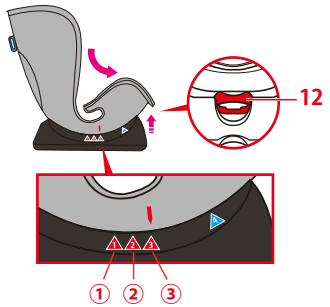
危険

・グループ1（体重9kgから18kgまで）で使用する場合のチャイルドシートはリクライニングポジション①～③で必ず前向きに取り付けること。
・3点式シートベルトの付いた自動車の座席に取り付けること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・エアバッグの付いた助手席にはお取り付けできません。エアバッグが膨らんだ際に当たり危険です。

フロントエアバッグ禁止！



1.角度調節レバー12を引きながら、リクライニングの位置を調節してください。背もたれの赤い矢印が位置を示すマークを指し、「カチッ」という音が聞こえたら、チャイルドシートは適切な場所に調節できた事になります。

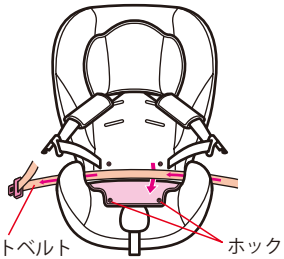


アドバイス

チャイルドシートを前向きに取り付ける時、リクライニングは３段階から選べます。お子さまが座り心地がいいように、リクライニングを①～③で調節して取付けしてください。

2.ハーネスをゆるめ、バックルを解除します。

3.シートカバーの座部と背もたれの間に2か所にあるホックを外してシートカバーをめくります。

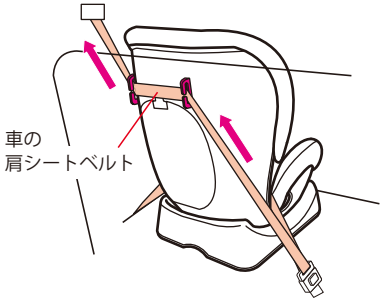


4.左右2か所にある腰ベルトガイドの赤いラベル付近を通るように車の腰シートベルトを通します。車のシートベルトタングをバックル受けに差し込んでください。車のシートベルトにたるみができないように肩シートベルトを強く引き上げます。

警告

・自動車に付いているシートベルトにたるみやねじれが無いこと。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

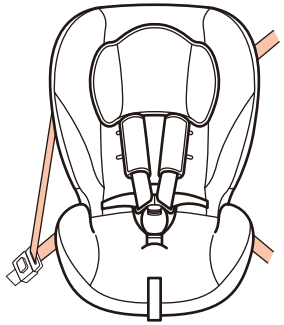
5.本体背面に2か所あるベルトガイドに車のシートベルトを通します。



6.めくったシートカバーを戻して、シート座面2か所にあるホックを取り付けます。

危険

・車のシートベルトをシートカバーでおおい、直接お子さまにシートベルトが触れないようにすること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



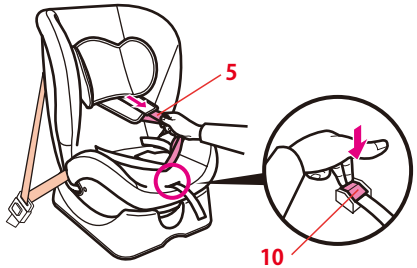
7.車のシートベルトを一度全て引出し、チャイルドシートロック機構（ALR）を作動させてください。余ったシートベルトは戻してください。
チャイルドロック機構の有無の確認方法（P22参照）

危険

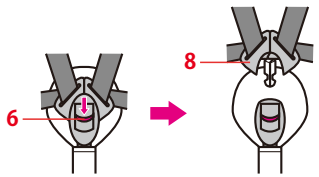
・車のシートベルトで取り付けを行う場合、チャイルドロック機構（ALR）を必ずご使用ください。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

8. お子さまを固定する。

①ハーネス調節レバー10を押し、肩ハーネス5をゆるめます。



②バックル解除ボタン（赤）6 を押して、バックルタング 8 を開けます。



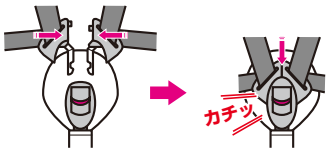
③お子さまをチャイルドシートに乗せます。

④お子さまの肩の上に肩ハーネス 5 と肩パッド 4 を、お子さまの脚の間には股ベルトとバックルパッド 9 を置きます。

警告

・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

⑤左右のタングを合わせて「カチッ」という音が聞こえるまで２つのバックルタングをバックルに差し込みます。



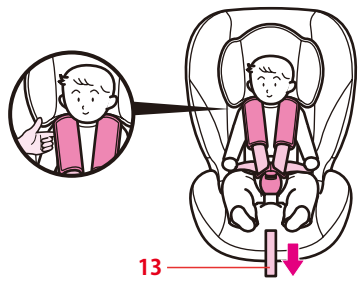
9. ハーネスシステムを締める。

調節ベルト13を引きながら、適切な位置に来るまでハーネスの肩ハーネスを調節します。

目安：お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が１本入る程度。

警告

・余った調節ベルトは丸めるなどしてシートの中に収納しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



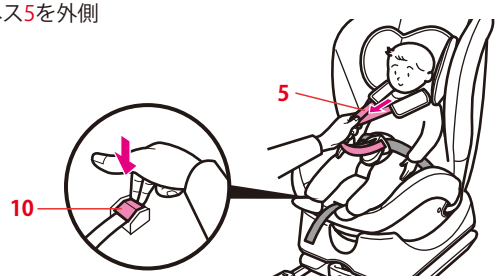
10. お子さまが正しく乗せられたかを確認します。

お子さまの安全を確実にするために、以下をご確認ください。

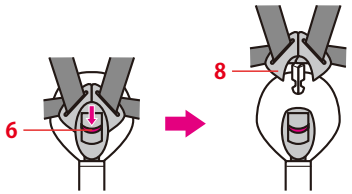
①チャイルドシートのベルトを締めるときは、お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指1本入る程度が適切です。
②肩ハーネスがねじれていないかを確認してください。
③バックルは完全にロックされていること。
④肩ハーネスと肩パッドは肩と同じ高さ、または肩より低い位置であること。
⑤チャイルドシートが背面2か所のベルトガイドと腰ベルトガイドを通っていること。
⑥車のシートベルトのチャイルドロック機構（ALR)が作動し、シートベルトがそれ以上引き出せない状態にあること。
⑦車のシートベルトにたるみやゆるみが無いこと。

6.3 お子さまをチャイルドシートから降ろすには

1.ハーネス調節レバー10を押し、肩ハーネス5を外側に引きます。



2.バックル解除ボタン（赤）6を押し、バックルタング8を解除します。

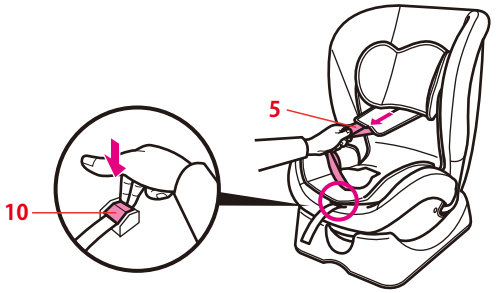


3.お子さまの肩から肩ハーネス5を外し、お子さまを降ろします。

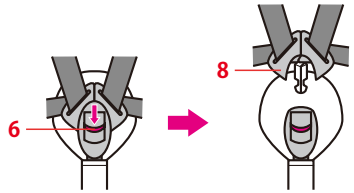
7. お手入れ方法について

7.1 シートカバーの取り外しかた

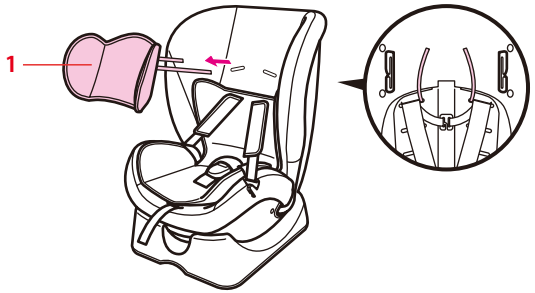
1.ハーネス調節レバー10を押し、肩ハーネス5をゆるめます。



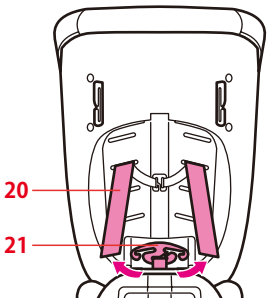
2.バックル解除ボタン（赤）6を押して、バックルタング8を解除します。



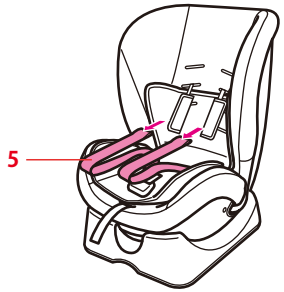
3.ヘッドパッド1を外します。



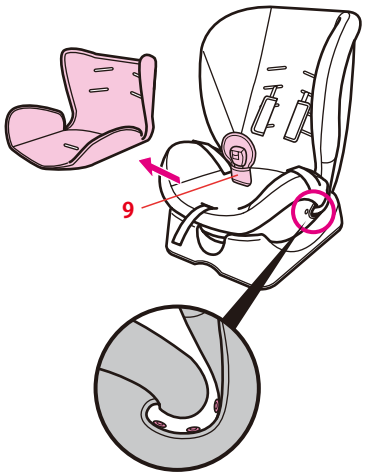
4.ジョイント金具21から肩ハーネス20を外します。



5.肩ハーネス5を正面から外します。



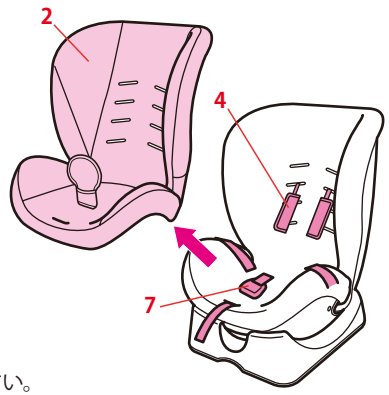
6.新生児パッドからバックルパッド9を抜いて取り外します。



7.左右3か所ずつあるホックを外します。

8.シートカバー2を背もたれ→座面の順に取り外します。

9.肩パッド4と腰ハーネスとバックル7をシートカバー2から抜いて、本体からシートカバー2を取り外します。



注意

- シートカバーを外して使用しない。また弊社指定以外のシートカバーと交換しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

・シートカバーを取り付ける時は逆の手順で行ってください。

7.2 お手入れのしかた

シートカバーのお手入れ

- 中性洗剤を使い30℃までのぬるま湯で洗ってください。
- 漂白剤は使用しないでください。
- 乾燥機は使用しないでください。
- ドライクリーニングにかけないでください。
- アイロンがけはしないでください。

その他のお手入れ

- 樹脂部品の汚れは、湿らせた布で拭き取ってください。
- 金属製の部品の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。
- 研磨剤や有機溶剤は使用しないでください。
- 取り外し可能な部品に潤滑油を使用しないようにしてください。

保証とアフターサービスについて

◎保証について

保証期間中（お買い上げ日より1年間です。）に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。

ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（修理箇所の保証期間は1カ月です。）

また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。）

◎アフターサービスについて

ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆるみやきしみ音があったり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認の上弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

アフターサービスについての連絡先

アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター　**TEL 0120−415−814**

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）　TEL 0570-004-155

受付時間：AM10：00〜PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0231 奈良県奈良市都祁吐山町2364-5　アップリカ 奈良サービスセンター

TEL（06）4300-4949

保管方法

◎本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
◎夏季の高温になる場所での保管は避けてください。
◎荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

廃棄方法

お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。
（環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。）